

全東京写真連盟
撮影会写真コンクール
入賞作品集



審査対象 上野公園不忍池羽子板と
晴れ着モデル撮影会

撮影日 2022年12月18日

審査日 2023年02月04日

審査員：HARUKI先生



金賞
「光るじゅうたん」
小野寺 基之 様
モデル 長谷部 彩

審査員：HARUKI先生 講評

銀杏並木の落ち葉が敷き詰められたじゅうたんが美しい金色に輝いています。秋から冬へと季節が移行する時期ならではの日本の風景の中にモデルを配しての撮影。着物の片面をおろしてしゃがんだポーズのモデルとローアングルで同じような高さに目線があることで、実際には離れた距離からの撮影ですがそれを打ち消してくれるだけの親近感のメリットへと繋がっています。爽やかなイメージのモデルさんの初々しい表情と片脚立ちの足元に見える白い足袋も効果的。季節感までも味方につけた風景写真としてもモデル写真としても素敵な1コマです☆



銀賞

「find my true love」

門間 正之 様

モデル 2022年ミス日本

ミス着物 佐藤 梨紗子

審査員：HARUKI先生 講評

日照時間が短い冬の撮影では晴れた時の光線を有効利用させることは良いチョイスだと思います。この作品は逆光線をおのともせず、というよりもむしろ逆光を巧く使ってフレアをものともせず果敢なチャレンジ精神に脱帽。その結果がありがちな温和しい絵柄から脱却しての作品となりました。皆さんも失敗を怖れずに逆光でもどんどん撮影して頂きたいです。ただし簡単には巧くはいきませんので覚悟してくださいませ（笑）。若い頃の吉永小百合さんを彷彿とさせる清潔感と凛々しさを感じさせるモデルさんもととても素敵ですね！



銅賞
「意志」
滝口 将史 様
モデル 山下 明穂

審査員：HARUKI先生 講評

銀賞の写真が「動」としたらこちらは対照的に「静」なイメージの作品。どちらかと云えば洋風な顔のモデルさんが着物を身に纏っていることでファッション性溢れるとてもお洒落な印象を受けます。視線を外したモデルさんのポーズも決まっていますが、着物と紅葉の色の組合せがとても良いバランスですし、背景処理や人物の配置、全体的な構図にもグラフィカルなセンスが光る構成力が感じられる一幅の名画を観ているような1枚となりました。このままでももちろん素敵なのですが、次回は柔らかいトーンに仕上げてみてはいかがでしょうか◎



久月賞
「羽子板と晴れ着」
豊田 光司 様
モデル 2022年ミス日本
ミス着物 佐藤 梨紗子

審査員:HARUKI先生 講評

画面を斜めにしての切取りが画面の動きに繋がりました。モデルさんの表情も素晴らしくかき上げた髪の毛のバランスもとれています。やや画像に荒さを感じたのでデータシートを確認しましたらISO が1250 でした。マイクロフォーサーズのセンサーも最近はずいぶんと良くなってきましたがそれでもポートレートなどで肌の質感を守るタイプに撮影ではISO800 くらいまでにした方が良さそうです。おそらくISO 感度オート設定にされたと思いますが、シャッター速度が1/5,000 秒ですので感度を400 くらいに抑えても充分早いシャッター速度が使えたはずですのであまり上げすぎないことです。



入選
「羽子板と共に」
米沢 健二 様
モデル アビラ 凜



入選
「紅葉の向こう」
小幡 大輔 様
モデル
2022年ミス日本
ミス着物
佐藤 梨紗子



入選
「秋のひととき」
内藤 勝之 様
モデル
2022年ミス日本
水の天使
横山 莉奈



入選
「視線」
金澤 義夫 様
モデル
2022年ミス日本
ミス着物
佐藤 梨紗子



入選
「師走のもみじ」
矢島 彰 様
モデル 山下 明穂



佳作
「あたたかな陽ざし」
深野 武雄 様
モデル
2022年ミス日本
ミス着物
佐藤 梨紗子



佳作
「きらめく光」
堤 博史 様
モデル 堀口桜子



佳作
「共艶」
荒井 秀雄 様
モデル
2022年ミス日本
水の天使
横山 莉奈



佳作
「小春日和」
大島 敏之 様
モデル 山下 明穂



佳作
「ベストスマイル賞」
斎藤 貴生 様
モデル アビラ 凜



佳作
「煌びやかに」
松岡 達雄 様
モデル 山下 明穂



佳作
「あでやか」
臼杵 辰朗 様
モデル 山下 明穂



佳作
「演歌のココロ」
岸野 孝博 様
モデル 瓦林 桜



佳作
「かがやく視線」
北条 善久 様
モデル 山下 明穂



佳作
「前途洋々」
米村 充男 様
モデル
2022年ミス日本
水の天使
横山 莉奈



次点
「思いを馳せて」
田中 直久 様
モデル ゆいな



次点
「見返り」
河村 徳助 様
モデル ゆいな



次点
「かざしに羽子板」
山田 栄一 様
モデル ゆいな



次点
「カワウソに恋して」
高橋 壯太 様
モデル 瓦林 桜



次点
「紅葉と和服美人」
池田 道政 様
モデル
2022年ミス日本
ミス着物
佐藤 梨紗子



次点
「椿姫」
佐藤 和明 様
モデル 堀口桜子



次点
「眼差し」
片桐 研一 様
モデル
2022年ミス日本
ミス着物
佐藤 梨紗子



次点
「魅惑」
鈴木 幸彦 様
モデル 山下 明穂



次点
「華麗なる微笑み」
樋口 彰彦 様
モデル
2022年ミス日本
ミス着物
佐藤 梨紗子



次点
「傘持つ人」
山本 皖治 様
モデル 戸花 桜

【 使用レンズの選択 】

以前にも少しお話ししましたが非望遠レンズについて。大人数の撮影会ではどうしても同じような位置からの撮影となることが多いです。ましてや収束へ向かっているとはいえ未だ新型コロナの感染が危惧されるような中ではモデルさんとカメラマンとの距離はある程度離れていないと危険ですし、カメラマン同士もあまり接近しないようにとの注意も必要です。

これらは仕方が無いことなのですがそうすると皆さん同じような望遠レンズ、特に70-200mmあたりの望遠ズームレンズや85mm～135mmの大口径単焦点レンズというチョイスに偏ってしまいがちですね。ポートレート撮影では王道ですし、それはそれで間違っていないのですが皆さん同じような絵柄となってしまいます。もちろん素敵な作品もたくさん排出されていますのでまったく問題はありません。

今回の2件の撮影会での上位6作品には残念ながら入っていないのですが、標準レンズやワイド系レンズで撮られた作品は望遠系で撮られた作品が多い中でやはり目を惹かれてしまいます。じゃあ何故上位入賞していないのでしょうか、それは圧倒的に応募数が少ないから確率的にも低いからかと。

春が近づいてきましたのでそろそろ背景となるまわりにも色味が付いてくる頃です。諸般の条件で難しいかとも思いますがどうせ撮影するのなら標準レンズ～ワイド系レンズで周辺も取り入れたシーンも少しは撮影されてみてはいかがでしょうか？

HARUKI